

平成29年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491000160	事業の開始年月日	平成19年10月1日	
		指定年月日	平成19年10月1日	
法人名	株式会社カスタムメディカル研究所			
事業所名	グループホーム野の花			
所在地	( 245-0053 )			
	横浜市戸塚区上矢部町2115-6			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成29年9月25日	評価結果 市町村受理日	平成29年12月21日	

基本情報リンク先 <http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/pSearch3?Open>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員、入居者の得意分野を生かして、音楽や作品作り、料理、プランター、メダカ飼育など楽しみながら生活ができるように支援しています。  
ご家族様も気兼ねなく来所できるような施設です。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル3階		
訪問調査日	平成29年10月18日	評価機関 評価決定日	平成29年12月1日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

グループホーム「野の花」はJR戸塚駅より神奈中バスにて上矢部高校前で下車、徒歩約5分のところあります。住宅地の静かな環境にあり、開所してから丸10年になります。運営法人は医療・介護など多方面の福祉事業を展開しています。

<優れている点>

「その人らしく自然な姿で過ごせる」よう医療・介護の連携を密にして支援しています。24時間オンコール体制を始め、日々のチェックによる健康管理やレントゲン・エコー検査などの年一回の健康診断を採り入れ、安心して過ごせるよう取り組んでいます。入居者に楽しく暮らして貰うことをモットーに、職員と一緒に朝の体操や食事、作品作りなどを通じ笑顔と笑い声のある生活をして貰えるよう努めています。食事は、調理専門の職員(プロのシェフ)が昼食と夕食を作っており、おいしい食事の提供に心がけています。介護職員は、調理との分業が行えることで、充実した支援に取り組んでいます。

<工夫点>

定期的に「カレーの会」を設けて家族と一緒に昼食を取る機会があります。「生活状況のお知らせ」も毎月作成し生活面や往診状況などを伝えることで家族との信頼関係を大切にしています。

虐待など、インターネットからダウンロードした実映像を教材にTV画面で見ながら研修を行っています。家族にも映像を使った研修を行っていることを見てもらい、身体拘束や虐待などを行わないことを伝えています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム野の花
ユニット名	コスモス

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/>	4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある
	<input type="radio"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/>	3, たまにある
	<input type="radio"/>	4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/>	2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/>	3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/>	4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/>	3, たまに
	<input type="radio"/>	4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている
	<input type="radio"/>	2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/>	3, あまり増えていない
	<input type="radio"/>	4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/>	2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/>	2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念は施設に掲示してあります。朝礼、研修で話し合いの場があり、実践できるようにしている。また、職員個人でメモしている者は、時折確認し実践している。	グループホームの理念「その人らしく自然な姿で過ごせる」よう日々の介護を支援するため、研修会や朝礼を通じ職員と話合っています。安全・安心、毎日の体操や入居者の楽しめることなど、身近なところから実行していくよう取り組んでいます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ごみ当番、地域の防災訓練、地域ケアプラザでの模様しもの、運動会、お祭りに何かしらの形で参加し、交流している。定期的に保育園との交流があります。	運営推進会議や町内会の総務役員から地域情報の提供があります。生活ごみ回収置き場の清掃や町内の防災訓練に参加し関係づくりに努めています。地域ケアプラザ主催のふれあいフェスタで入居者・職員の共同作品の展示や近隣保育園の園児との交流があります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設用の研修を使い、運営推進会議で認知症の理解や支援の方法を、地域の構成員に向けて発したり、見学者の方にも認知症についての情報を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度開催される運営推進会で取り組み等の活動報告し、意見交換、評価をしていただき、サービス向上に繋げている。	入居者・入居者家族、地域の代表、町内会役員、地域包括支援センター職員、消防署員など多くの関係者の出席を得て2ヶ月ごとに開催しています。消防署員からは加湿器による発火事故やたばこの不始末などの注意・助言を得て情報を共有しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	横浜市のグループホーム連絡会で、研修に参加したり、横浜市より情報提供を受けています。生活保護の方の受け入れでは担当者と情報を密にして、協力関係を構築している。	横浜市の区役所とは介護認定更新や保護者受入などについて密接に連携しています。横浜市グループホーム連絡会による感染症対策や虐待防止研修に職員が参加し事業所内研修に反映しています。力を加えないで介護する方法やフットケアについて学んでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	環境整備や適切な声掛けで身体拘束を回避しているが、入居者様の安全を配慮し、一時的な方法として家族に相談の上、施錠をすることはある。夜間のみ玄関の施錠は身体拘束ではなく防犯の視点で行っている。	事業所内の虐待防止研修にインターネットからダウンロードした実際の虐待映像をTV画面で閲覧しながら研修を行っています。入居者家族にも映像を使って研修していることや、画面を見てもらい、身体拘束や虐待を行わないことを伝えています。職員はお互いに注意し合える環境にあります。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止研修を行い、職員同士で指摘しあうように指示している。ご家族にも虐待防止についての話をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度や日常生活自立支援事業等の研修を行う予定であり、個々の必要性を関係者と話し合っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時ではキーパーソンと読み合わせを行い、疑問点がないようにしている。後日の質問にも対応している。改定がある場合は、その旨を説明し、同意書を頂く対応をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や意見箱、訪問時で意見を頂き、対応方法を発表する機会もあり、運営に反映させている。	来所時など入居者家族が気軽に会話をしたり意見を言いやすい雰囲気作りを心がけています。定期的に「カレーの会」を設け家族と一緒に昼食を取り、寛いでもらっています。「生活状況のお知らせ」を毎月作成し生活面や往診状況なども家族に伝えています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や、ユニット会議、そのほか朝の打ち合わせ、通常業務時にも意見を受け付けており、話し合い反映しやすい環境です。	職員の自由な発想で介護サービスに取り組めるよう、会議や日常業務の中で対話に努めています。服薬の際の誤薬をなくすためのトレーの改善や入浴における部分浴の採用など、職員の提案で実施しています。職員の力量アップのため外部研修なども支援しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は研修制度、キャリアパスなど提示しており、職場環境改善、条件の向上につながるよう整備をしている。現場の意見は管理者が上長に報告している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の力量を把握し、法人内外の研修に参加させている。介護福祉士資格保有の職員からのアドバイスを受け働くことができる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	代表者は施設長会議、外部・内部研修受講の機会を設けており、管理者、職員が同業種と交流する機会を確保しており、相互情報交換で、サービスの質の向上をさせていく機会がある。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	信頼関係やご本人が安心できるような関係性になるような、かかわり方をしており、困っていること、不安なことを相談しやすくなるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスを開始する前後でご家族や入居者様との時間をとり要望されていることを聞かせていただいたり、ご家族と連絡をとり、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族様に趣味趣向をお聞きし、ホームで何を必要としているか、支援を検討して、サービスを提供しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員がご本人の間に入り、体操や縫物、キッチンでの手伝い、掃除など生活自体を媒介として交流ができるように配慮している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員は、毎月、生活状況をお知らせし、家族と情報を共有し、共に本人を支えてられる関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人からの手紙、贈り物または、知人からの手紙や訪問などが続けられ、途切れないよう支援に努めています。	入居者から依頼のあった手紙の投函や、近くの商店に一緒に行き知人へ送る贈り物選びや配送手配の支援を行っています。自宅を見たいとの希望があった時には車で出向くことがあります。電話の取り次ぎなども行い、関係が途切れないよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事、体操（レク含む）、プランターで野菜の栽培など、利用者同士の関わりが持てる機会を設け、支え合えるように支援を務めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了しても、これまでの関係性を大切にしています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人からの希望をお聞きしたり、普段の会話から意向の把握に努めている。困難な場合はご家族からも意見をいただき、本人本位に検討している。	入所時に趣味や望むことなど時間をかけて把握するようにしています。入所後の希望の変化も把握するよう配慮しています。外食で何が食べたいか、プランターでの栽培に何を植えたいか、などの希望を普段の会話の中から見つけるよう努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族、これまでのサービスの担当者にお聞きし、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の生活から変化を把握し、きづきを持ち寄り、職員同士で何ができるかの現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人の課題や状況の把握、朝のユニットでの打ち合わせや、個人記録、申し送り、家族からの意見をもとに状況の共有、統一した介護、現状に即した介護計画を作成している。	3ヶ月ごとのモニタリングと6ヶ月単位のケアプランの見直しを基本としています。介護経過個人記録「24時間生活変化シート」にはケアプランとの結びつきを明確にするためケアプラン番号（A3・B2等）を記載し実施状況が把握できるよう工夫しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のケアの実践から、気づきや対応を個人記録、申し送りで情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている、		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	既存サービスに加え、職員の自由な発想でサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ボランティアや、外部のサービスといった地域資源を活用し、豊かな暮らしができるように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	掛かりつけ医と連携をとり、ご本人とご家族の希望があれば、掛かりつけ医に伝え、適切な医療を受けられるように支援しています。	年1回のレントゲンやエコーの健康診断と治療の有無を見極める歯科検診のほか、月2回の内科・週1回の歯科往診があります。週2回看護師訪問があり、希望する外来には家族と連携をとり通院する入居者もいます。24時間協力医療機関との連携がとれています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は利用者様の体調の変化を訪問看護しに報告、相談し、適切な内科医の受診や看護が受けられようように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	内科医の医療情報提供書、看護サマリー、介護サマリーの速やかな提供し、安心して治療が受けられないように病院関係者と連携をとっている。また、入院中の情報の入手を行い、受け入れ体制を整えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に重度化、終末期の意向・同意書類をいただいているが、その時には、ご家族の希望も変わることから、再確認をしている。事業所でできることを説明し、ご家族とチームとなり支援している。	入所時に重度化した場合の指針を説明し同意書で確認をしています。看取り実績はありませんが、経験のある職員の体験談や看取り研修へ参加することで今後の看取り体制に向け知識や技術の向上に努めています。医療機関と連携をとっています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	利用者の急変に備え、緊急対応の研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	非常事態に備え、避難訓練を行っている。地域の方には、外に避難した場合は、見守りをお願いしている。	年1回町内会の防災訓練に参加しています。年2回夜間想定避難訓練を行っており、1回は消防署立会のもと消火器やAEDの使い方の指導を受けています。運営推進会議で地域の方の協力を得ています。非常時の職員、利用者の連絡網を整えています。	地震や洪水のマニュアルも備えており、火災に限らず職員に周知することや、災害時の非常用食品の備蓄が2日分程度のため、安定した備蓄と定期的な確認体制が期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格の尊厳、プライバシーを尊重し、声掛けを行っている。 また、接遇の研修もある。	家庭的な生活環境と職員にとっても働きやすい職場環境を配慮することで入居者との信頼関係を構築し、一人ひとりの心身の状況を踏まえ、いつまでも自分らしく過ごせるように配慮した支援をしています。接遇に関する研修も行っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様との会話を通じ、希望に添えるように配慮そたり、自己決定ができるような会話をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースや希望を優先して、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	清潔保持にも気を付けながら、身だしなみができるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様ができることを支援し、食事の準備、片付けをし、楽しまれている。	楽しく食べることを大切にしています。音楽を流し「いただきます」と声掛けの当番を決めており準備、片付けは出来る入居者で行っています。カタログを見て食べたい物を聞いています。料理は専門シェフの調理で職員も一緒に食卓を囲んでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個人記録に食事の摂取量（割合）、水分量を記録して、一日を通じて確保されているよう配慮している。また、各自の摂取方法に合わせて、提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、本人の状態に合わせた声掛けや口腔ケア誘導しサポートし、口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個人記録に排泄のタイミングを記録し、個々のパターン、習慣の把握に努め、各自の自立に向けた支援をしている。	個人記録は「排便チェックシート・業務日誌・24時間生活変化シート」を基に一人ひとりの様子とパターンを把握し対応しています。日頃の職員とのコミュニケーションで信頼関係を築き合図の仕草を把握、声の掛け合いを円滑にしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘の原因や影響（落ち着かなくなるなど体調の変化）を理解し、便秘を回避できるように、食事内容、水分の量、体操、薬の活用なども含め、予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴を楽しめるように個々の希望の時間帯に合わせたり、入浴剤を活用したりして、個々に応じた入浴の支援を行っている。	ゆっくり気持ちよく入浴ができる支援を心掛けており、日程や時間を決めず、一人ひとりの希望や体調に合わせた対応をします。シャワー浴や足清拭での対応、入浴を拒む入居者への声掛けの工夫をし、くつろげる時間になるよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活習慣に合わせ、自由に休んで頂いています。居室環境も整え、安心してよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	利用者様の薬の把握と服薬の支援、変化に配慮し、医師・看護師と連携している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々の好きなこと、出来ること、サポートのできることを活用し、楽しく過ごすことができるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ちょっとした散歩や季節行事や外食レク等で楽しく過ごせていただけるよう支援している。また、ご家族との外出もある。地域の方のサポートもありイベントにも参加することもある。	一人ひとりの体調や希望に応じて散歩に出掛けています。行くことの出来ない場所でも、入居者の故郷などをパソコン画面で見たり、家族の協力で温泉地やドライブに出掛ける入居者もいます。初詣・花見・こいのぼり見学などで外出をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の取り扱いは希望があれば、ご本人が管理、保持でき、支援します。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話や手紙について規制しておらず、ご本人の希望で電話をかけたり、手紙を出したり（やり取り）できるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有の場所の温度・湿度調整、季節感、明暗、懐かしい音楽、衛生環境を整備し居心地の良い空間になるように配慮している。	居間を中央に、キッチン、廊下、事務所が見渡せる明るい空間です。それぞれに手すりが細部に渡り設置され安全に配慮しています。除菌消臭加湿器、空気清浄器、温湿度計が置かれています。廊下には利用者が製作した季節ごとの貼り絵や塗り絵、習字などを掲示しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	BGMを流した空間で過ごしたり、テレビをみたり、新聞や、雑誌、塗り絵など、思い思いに過ごせる空間を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みある使い慣れた家具や、道具を持ってきていただき、居室の一部として、自分らしく過ごしやすい安心して過ごせるように努めている	エアコン・クローゼット・ベッドが設置され、入居者は馴染みのタンスやドレッサーを置いたり、家族からの贈り物や塗り絵作品などを飾っています。ドア上部に欄間が設置され通気調整ができ、消臭剤も置かれ、居心地よく過ごせる工夫をしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立した生活が送れるようにできることを活かして行えるように努めている。		

事業所名	グループホーム野の花
ユニット名	マーガレット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	基本理念は事務所に掲示してあり、理解して実践するように心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ごみ当番、地域の防災訓練、地域ケアプラザでの模様しもの、運動会、お祭りに何かしらの形で参加し、交流している。定期的に保育園との交流があります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設用の研修を使い、運営推進会議で認知症の理解や支援の方法を、地域の構成員に向けて発したり、見学者の方にも認知症についての情報を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度開催される運営推進会で取組み等の活動報告し、意見交換、評価をしていただき、サービス向上に繋げている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	横浜市のグループホーム連絡会で、研修に参加したり、横浜市より情報提供を受けています。生活保護の方の受け入れでは担当者と情報を密にして、協力関係を構築している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	環境整備や適切な声掛けで身体拘束を回避しているが、入居者様の安全を配慮し、一時的な方法として家族に相談の上、施錠をすることはある。夜間のみ玄関の施錠は身体拘束ではなく防犯の視点で行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止研修を行い、職員同士で指摘しあうように指示している。ご家族にも虐待防止についての話をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度や日常生活自立支援事業等の研修を行う予定であり、個々の必要性を関係者と話し合っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時ではキーパーソンと読み合わせを行い、疑問点がないようにしている。後日の質問にも対応している。改定がある場合は、その旨を説明し、同意書を頂く対応をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や意見箱、訪問時で意見を頂き、対応方法を発表する機会もあり、運営に反映させている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や、ユニット会議、そのほか朝の打ち合わせ、通常業務時にも意見を受け付けており、話し合い反映しやすい環境です。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は研修制度、キャリアパスなど提示しており、職場環境改善、条件の向上につながるよう整備をしている。現場の意見は管理者が上長に報告している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の力量を把握し、法人内外の研修に参加させている。介護福祉士資格保有の職員からのアドバイスを受け働くことができる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	代表者は施設長会議、外部・内部研修受講の機会を設けており、管理者、職員が同業種と交流する機会を確保しており、相互情報交換で、サービスの質の向上の機会がある。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	一日でも早くホームの生活に慣れていただけるような声かけや、他の利用者の関係作りを支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスを開始する前後でご家族や入居者様との時間をとり要望されていることを聞かせていただいたり、ご家族と連絡をとり、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族様に趣味趣向をお聞きし、ホームで何を必要としているか、支援を検討して、サービスを提供しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員がご本人の間に入り、体操や縫物、キッチンでの手伝い、掃除など生活自体を媒介として交流ができるように配慮している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員は、毎月、生活状況をお知らせし、家族と情報を共有し、共に本人を支えてられる関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人からの手紙、贈り物または、知人からの手紙や訪問などが続けられ、途切れないように支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士が交流を持てるようなレクや、一緒におそうじや食事作りの手伝いをする事で、関わり合い、支えあいができるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了しても、これまでの関係性を大切にしています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人からの希望をお聞きしたり、普段の会話から意向の把握に努めている。困難な場合はご家族からも意見をいただき、本人本位に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族、これまでのサービスの担当者にお聞きし、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の生活から変化を把握し、気付きを持ち寄り、職員同士で何ができるかの現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人の課題や状況の把握、朝のユニットでの打ち合わせや、個人記録、申し送り、家族からの意見をもとに状況の共有、統一した介護、現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のケアの実践から、気づきや対応を個人記録、申し送りで情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている、		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	既存サービスに加え、職員の自由な発想でサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ボランティアや、外部のサービスといった地域資源を活用し、豊かな暮らしができるように努めています。年2回の保育園との交流や、ボランティアからの雑巾の差し入れがある。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	掛かりつけ医（内科・歯科）と連携をとり、ご本人とご家族の希望があれば、掛かりつけ医に伝え、適切な医療を受けられるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は利用者様の体調の変化を訪問看護しに報告、相談し、適切な内科医の受診や看護が受けられようように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	内科医の医療情報提供書、看護サマリー、介護サマリーの速やかな提供し、安心して治療が受けられないように病院関係者と連携をとっている。また、入院中の情報の入手を行い、受け入れ体制を整えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に重度化、終末期の意向・同意を書類でいただいているが、その時には、ご家族の希望も変わることから、再確認をしている。事業所でできることを説明し、ご家族とチームとなり支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	利用者の急変に備え、緊急対応の研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	非常事態に備え、避難訓練を行っている。地域の方には、外に避難した場合は、見守りをお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格の尊厳、プライバシーを尊重し、声掛けを行っている。 また、接遇の研修もある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様との会話を通じ、希望に添えるように配慮そたり、自己決定ができるような会話をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースや希望を優先して、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	清潔保持に注意し、その人らしい見だしなみができるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者の食べたいメニューを聞き、取り入れている。料理の下準備や、後片付けなどを一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個人記録に食事の摂取量（割合）、水分量を記録して、一日を通じて確保されているよう配慮している。また、各自の摂取方法に合わせて、提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、本人の状態に合わせた声掛けや口腔ケア誘導しサポートし、口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個人記録に排泄のタイミングを記録し、個々のパターン、習慣の把握に努め、各自の自立に向けた支援をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘の原因や影響（落ち着かなくなるなど体調の変化）を理解し、便秘を回避できるように、食事内容、水分の量、体操、薬の活用なども含め、予防に取り組んでいる。牛乳、ヨーグルト、カルピスの摂取もある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	コミュニケーションをとりながら入浴を楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	明暗調整、室温管理、リネン交換での清潔な環境を維持し安心して気持ちよく眠れるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個人の病状を理解し目的や副作用、用法・容量に気を付け、服薬していただいています。変化は看護師や医師に伝えるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々の好きなこと、出来ること、サポートのできることを活用し、楽しく過ごすことができるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は散歩に出かけたり、家族との外出ができるように支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の取り扱いは希望があれば、ご本人が管理、保持している。お金を使うことで		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話や手紙について規制しておらず、ご本人の希望で電話をかけたり、手紙を出したり（やり取り）できるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有の場所の温度・湿度調整、季節感、明暗、懐かしい音楽、衛生環境を整備し居心地の良い空間になるように配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	BGMを流した空間で過ごしたり、テレビをみたり、新聞や、雑誌、塗り絵など、思い思いに過ごせる空間を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みある使い慣れた家具や、道具を持ってきていただき、居室の一部として、自分らしく過ごしやすい安心して過ごせるように努めている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立した生活が送れるようにできることを活かして行えるように努めている。		

平成29年度

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム 野の花

作成日： 平成 29年 12月 18日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地震や洪水のマニュアルも備えており、火災に限らず職員に周知することや、災害時の非常用食品の備蓄が2日程度のため、安定した備蓄と定期的な確認体制が期待される。	地震・洪水・火災等の職員への周知を行う	周知のタイミングについて月初の朝礼にて、地震・洪水・火災等非常災害についてのアナウンスをおこなっていく。	12ヶ月
2	35	地震や洪水のマニュアルも備えており、火災に限らず職員に周知することや、災害時の非常用食品の備蓄が2日程度のため、安定した備蓄と定期的な確認体制が期待される。	十分な備蓄と定期的確認を行う	備蓄の確保、確認のタイミングについて月初に非常用食品用備蓄の確認をチェック表を設け、定期的に行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月